



こまくさ

令和6年度
2月27日 No56
仙北市立生保内小学校
学校報

教育目標～夢に向かって やさしく!かしこく!たくましく!

学校の様子から

2月18日:「6年生スペシャル給食」

18日は「スペシャル給食」でした。「スペシャル給食」は、卒業生の思い出になるように給食センターの計らいで毎年実施されています。コロナ禍以前はバイキング形式(自分で好きな分を取り分ける形式)で行っていましたが、最近は通常の給食メニュー



とは別に2品(今回はたこ焼きと鶏の唐揚げでした)に自分で事前に選んでいたデザートと飲み物がつく形で行っています。草薨先生が制作した入学時からのスライドをみながら、おいしくいただきました。

2月20日:「お雛様を飾りました」

お雛様を職員玄関に飾りました。本校のお雛様は、男雛、女雛、三人官女、五人囃子の他に、右大臣、左大臣、仕丁三人、三歌人(菅原道真・小野小町・柿本人麻呂)の十八人揃いの豪華八段飾りです。この立派なお雛様は本校の自慢の1つです。休み時間になると、お雛様を見にくる子どもたちがいます。きっと、子どもたちの健やかな成長をお雛様が見守ってくれていると思います。



2月21日:「外国語活動:3年生」

3年生の外国語活動の様子です。3年生の外国語活動は、外国語専科の先生、ALTの先生、外国語指導助手の先生、担任の先生で授業を行っています。



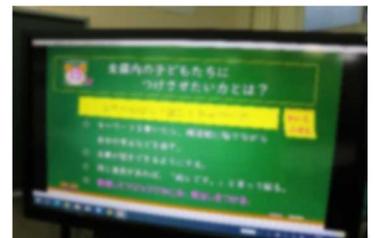
21日の授業は「Who are you・あなたはだれですか」について、英語の自然な発音やイントネーションを身に付けられるように、リズムに合わせて単語や文を繰り返す「Chant-s」(チャンツ)で練習していました。楽しみながら学習している様子をみながら、英語好きな子どもに育てて欲しいと思いました。



コミュニティスクールと熟議

2月26日:「熟議開催」

令和7年度、生保内地域のコミュニティスクール(学校運営協議会制度)移行に向けた熟議が開催されました。



コミュニティスクールは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。



(裏面に続きます)



コミュニティスクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていきます。そのために、学校と地域が互いに課題を出し合い、理解を深め合い、それぞれが役割分担をしながら育てたい子ども像を話し合っていくための「熟議」(※「熟議」とは、多くの当事者が「熟慮」と「議論」を重ねながら、共通認識・課題解決をしていくことで



す)が大切だといわれています。今回はPTA第2回常任委員会の前の時間帯に、各学年の保護者の方々から参加をいただいて「生保内小学校の子どもにつけさせたい力」をテーマに熟議が行われました。

「熟議」というと、難しい会議のように思われがちですが、4~5人のグループに分かれて簡単な自己紹介から雑談を交えて、自分が思ったことを付箋に書いて大きな紙に貼りながら話し合いを進めていきます。参加された保護者の方々からは「気軽に思っていることを話せた。」や「楽しい雰囲気でした。」等の感想をいただきました。

今回のテーマ「生保内小学校の子どもにつけさせたい力」について、参加された皆様からのご意見を集約してキーワードにすると、「地域への愛」「思いやり・認め合い」「チャレンジ」「楽しく」「感謝」「時間をたっぷりかける」「親・手本」に分類されました。熟議でいただいた貴重なご意見は、令和7年度の学校経営に反映させていただきます。

活躍

2025ジュネスカップ(大回転):ジュネス栗駒スキー場
第1戦 2月22日 第2戦 2月23日



小学校6年女子(第1戦)第6位(第2戦)第6位
6年 A.S さん



小学校2年女子(第2戦) 第3位
2年 T.S さん